

# 6

## カスタム・リカバリ CD ／リカバリ CD の使いかた

Windows 98 モデルには、カスタム・リカバリ CD が同梱されています。

Windows 2000 モデルにはリカバリ CD が同梱されています。

本章では、カスタム・リカバリ CD およびリカバリ CD の  
使いかたについて説明します。

- 1** カスタム・リカバリ CD／リカバリ CD とは..... 142
- 2** 標準システムを復元する ..... 143
- 3** 最小構成でシステムを復元する  
(Windows 98 モデル) ..... 149
- 4** アプリケーションを再インストールする  
(Windows 98 モデル) ..... 152

# ① カスタム・リカバリCD/リカバリCDとは

## ① カスタム・リカバリCDとは (Windows 98モデル)

Windows 98モデルには次のカスタム・リカバリCDが同梱されています。

- Product Recovery CD-ROM
- アプリケーション&ドライバCD-ROM

カスタム・リカバリCDは、何らかの障害によってハードディスクが壊れてしまった場合やシステムが正常に動作しなくなってしまった場合にシステムを復元したり、一度削除してしまったアプリケーションを再インストールする場合に使用します。

復元するには、次の方法があります。

- 標準システムを復元する  
ご購入時の状態に戻します。プレインストールされているデバイスドライバやアプリケーションもすべて復元されます。  
☞ 「本章 2 標準システムを復元する」
- 最小構成でシステムを復元する  
Windowsのみを復元します。デバイスドライバやアプリケーションなどはインストールされませんので、通常は標準システムを復元することをおすすめします。  
☞ 「本章 3 最小構成でシステムを復元する (Windows 98モデル)」
- アプリケーションやドライバごとに再インストールする  
プレインストールされているアプリケーションのなかから、必要なアプリケーションやドライバを指定してインストールできます。  
☞ 「本章 4 アプリケーションを再インストールする (Windows 98モデル)」



メモ

・カスタム・リカバリCDは絶対になくさないようにしてください。紛失した場合、再発行することはできません。

## ② リカバリCDとは (Windows 2000モデル)

Windows 2000モデルにはリカバリCD (「Product Recovery CD-ROM」) が同梱されています。

リカバリCDは何らかの障害によって、ハードディスクが壊れてしまった場合やシステムが正常に動作しなくなってしまった場合にシステムを復元するために使用します。

☞ 「本章 2 標準システムを復元する」

また、Windows 2000モデルには、アプリケーションCD (「Application CD-ROM」) も同梱されています。アプリケーションCDは、本製品で用意されているアプリケーションが入っています。

用意されているアプリケーションなどの一覧および概要、注意事項とインストール方法についてはアプリケーションCDをCD-ROMドライブまたはCD-R/RWドライブにセットし、表示される初期画面をご覧ください。



メモ

・リカバリCD/アプリケーションCDは絶対になくさないようにしてください。紛失した場合、再発行することは出来ません。

# 2 標準システムを復元する

本製品にあらかじめインストールされている Windows やアプリケーションを復元し、ご購入時の状態に戻します。

## 1 準備

次のものを使用します。

- Product Recovery CD-ROM
- 取扱説明書（本書）

Microsoft Office<sup>(\*)</sup> がプレインストールされているパソコンの場合は、上記に加えて製品に同梱されている次のものを使用します。

- Microsoft<sup>®</sup> Office XP Personal CD-ROM
- Microsoft<sup>®</sup> Bookshelf<sup>®</sup> Basic CD-ROM

(\*1) Microsoft<sup>®</sup> Office XP Personal および Microsoft<sup>®</sup> Bookshelf<sup>®</sup> Basic

## 2 操作手順

### Windows 98 モデルの場合



**注意**

- ・復元する際にハードディスクのフォーマットを行います。ハードディスクの内容はすべて削除されますので、必要なデータがある場合には、あらかじめフロッピーディスクなどに保存してください。  
ハードウェア構成を変更している場合には、本パソコンをご購入時の状態に戻してから、システムの復元を行なってください。
- ・BIOS セットアップの [Advanced CMOS Setup] で [1st Boot Device]、[2nd Boot Device]、[3rd Boot Device] の設定がご購入時の状態と異なる場合、Product Recovery CD-ROM から起動されません。必ずご購入時の設定に戻してから、システムの復元を行なってください。

BIOS セットアップについて ⇨ 「5 章 BIOS セットアップについて」

### 1 パソコンをご購入時の状態に戻す

取り付けた拡張カード類や周辺機器などはすべて取りはずし、フロッピーディスクドライブからフロッピーディスクを取り出してください。

### 2 「Product Recovery CD-ROM Disk 1」を CD-ROM ドライブまたは CD-R/RW ドライブにセットする

### 3 パソコンを再起動する

システムが再起動し、「復元する構成を選択してください」のメッセージが表示されます。

### 4 **F1**キーを押す

「ハードディスクの内容は、すべて削除されます！」のメッセージが表示されます。

## 6 章

カスタム・リカバリCDの使いかた

## 5 [Y]キーを押す

処理を中止する場合は、[N]キーを押してください。

## 6 次のメッセージが表示された場合は、メッセージを確認し、何かキーを押す



ここで表示されるメッセージは、復元の途中で表示されるメッセージについての説明です。内容をご確認のうえ、そのまま何かキーを押してください。



メモ

・「Product Recovery CD-ROM」が1枚の場合は、このメッセージは表示されません。

復元中は、次の画面が表示されます。



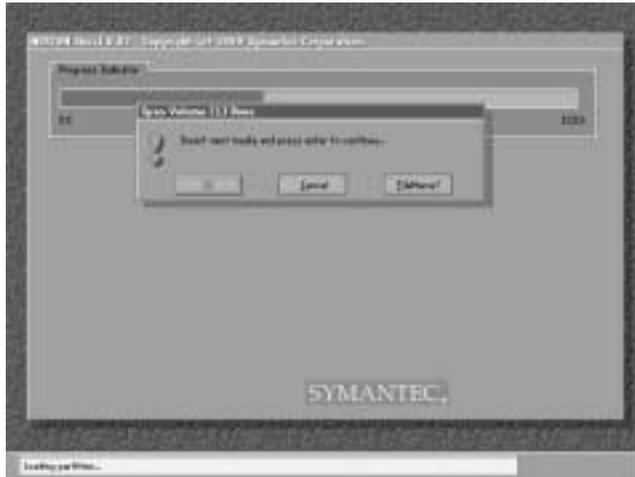
(表示例)

## 7 表示されるメッセージに従って復元を行う

復元中に次のメッセージが表示された場合は、CDを入れ替え、**[Enter]**キーを押してください。処理が続きます。

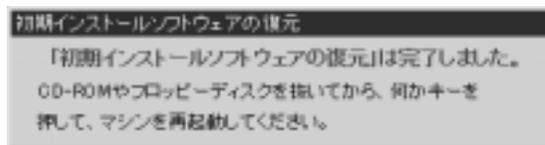


・「Product Recovery CD-ROM」が1枚の場合は、このメッセージは表示されません。



(表示例)

復元の進行状況を示すグラフ表示が100%に達し、次の画面が表示されたら完了です。



## 8 CDを取り出し、何かキーを押す

システムが再起動します。



・CDをセットしたままキーを押すと、もう1度システムの復元が始まります。必ずCDを取り出してからキーを押してください。

## 9 Windowsのセットアップを行う

☞ Windowsのセットアップについて ⇨ 「2章 2 初めて電源を入れるときは」

## ● Microsoft Office<sup>(\*)</sup>のセットアップCDが同梱されているパソコンの場合

Microsoft Office<sup>(\*)</sup>は、以上の手順では復元されません。

Windowsのセットアップが終了した後に、アプリケーションのパッケージに同梱されている説明書を参照のうえ、復元してください。

(\*) Microsoft<sup>®</sup> Office XP Personal および Microsoft<sup>®</sup> Bookshelf<sup>®</sup> Basic

## Windows 2000 モデルの場合

- 注意**
- ・復元する際にハードディスクのフォーマットを行います。ハードディスクの内容はすべて削除されますので、必要なデータがある場合には、あらかじめフロッピーディスクなどに保存してください。  
ハードウェア構成を変更している場合には、本パソコンをご購入時の状態に戻してから、システムの復元を行なってください。
  - ・BIOS セットアップの [Advanced CMOS Setup] で [1st Boot Device]、[2nd Boot Device]、[3rd Boot Device] の設定がご購入時の状態と異なる場合、Product Recovery CD-ROM から起動されません。必ずご購入時の設定に戻してから、システムの復元を行なってください。

BIOS セットアップについて ⇨ 「5 章 BIOS セットアップについて」



ご購入時の状態でシステムを復元した場合、工場出荷時のパーティション設定は、全領域が C ドライブ (NTFS) に設定されています。

### 1 パソコンをご購入時の状態に戻す

取り付けた拡張カード類や周辺機器などはすべて取りはずし、フロッピーディスクドライブからフロッピーディスクを取り出してください。

### 2 「Product Recovery CD-ROM Disk 1」を CD-ROM ドライブまたは CD-R/RW ドライブにセットする

### 3 パソコンを再起動する

「復元を開始します！よろしいですか？」というメッセージが表示されます。

### 4 復元を行う場合は **[Y]** キーを、行わない場合は **[N]** キーを押す

**[Y]** キーを押すと、「ハードディスクの内容は、すべて削除されます！」というメッセージが表示されます。

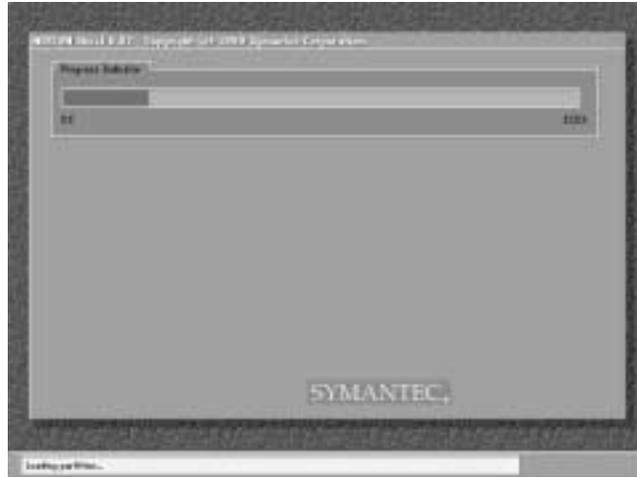
### 5 復元を続行する場合は **[Y]** キーを、復元を中止する場合は **[N]** キーを押す

### 6 次のメッセージが表示された場合は、メッセージを確認し、何かキーを押す



ここで表示されるメッセージは、復元の途中で表示されるメッセージについての説明です。内容をご確認のうえ、そのまま何かキーを押してください。

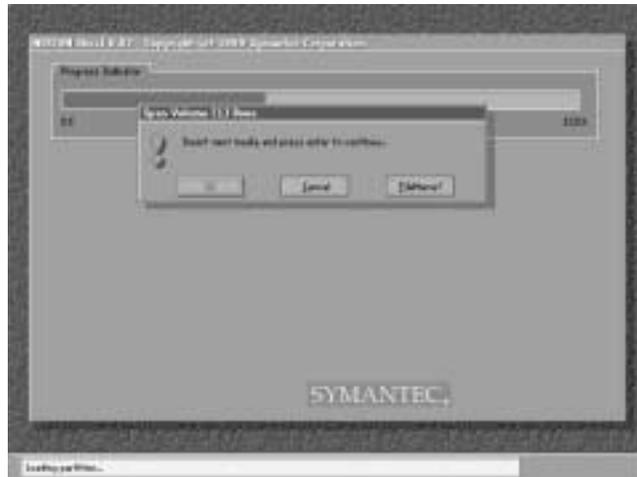
復元中は、次の画面が表示されます。



(表示例)

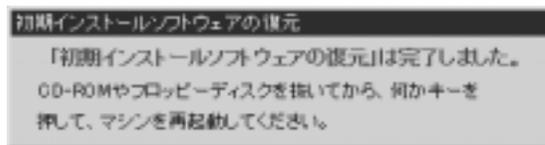
## 7 表示されるメッセージに従って復元を行う

復元中に次のメッセージが表示された場合、CDを入れ替え、**[Enter]**キーを押してください。処理が続きます。



(表示例)

復元の進行状況を示すグラフ表示が100%に達し、次の画面が表示されたら完了です。



## 8 CDを取り出し、キーを押す

システムが再起動します。

## 9 Windows のセットアップを行う

☞ Windows のセットアップについて ⇨ 「2章 2 初めて電源を入れるときは」

### **Microsoft Office<sup>(\*)</sup> のセットアップ CD が同梱されているパソコンの場合**

Microsoft Office<sup>(\*)</sup> は、以上の手順では復元されません。

Windows のセットアップが終了した後に、アプリケーションのパッケージに同梱されている説明書を参照のうえ、復元してください。

(\*1) Microsoft<sup>®</sup> Office XP Personal および Microsoft<sup>®</sup> Bookshelf<sup>®</sup> Basic

# 3 最小構成でシステムを復元する(Windows 98モデル)

Windows 98 モデルでは、Windows のみを復元することができます。最小構成でシステムを復元しますので、ご購入時にプレインストールされていたデバイスドライバやアプリケーションなどはインストールされません。Windows のセットアップ終了後、本製品に同梱されている「アプリケーション&ドライバCD-ROM」から、必要なデバイスドライバおよびアプリケーションをインストールしてください。



メモ

- ・最小構成でシステムを復元する場合でも、標準システムを復元する場合と同じディスク使用量（ご購入時のディスク使用量）が必要です。
- ・最小構成で復元した場合は、デバイスドライバやアプリケーションはインストールされません。本製品の機能をすべてご利用になるには、「アプリケーション&ドライバCD-ROM」から、デバイスドライバなどをインストールする必要がありますので、通常は標準システムを復元することをおすすめします。
- ・最小構成で復元した場合は、Windows のセットアップの画面が、パソコンご購入後初めて電源を入れるとき、または標準システムの復元時と異なります。また、Windows のセットアップに時間がかかります。途中、作業画面が止まったように見えるときがありますが、間違って電源を切ったりしないでください。

## 1 準備

次のものを使用します。

- Product Recovery CD-ROM
- 取扱説明書（本書）

また、Windows セットアップ時に Product Key の入力が必要です。Product Key はパソコン本体に貼られている Microsoft "Certificate of Authenticity" ラベルに印刷されています。あらかじめ紙などに書き写しておいてください。

## 2 操作手順



注意

- ・復元する際にハードディスクのフォーマットを行います。ハードディスクの内容はすべて削除されますので、必要なデータがある場合には、あらかじめフロッピーディスクなどに保存してください。  
ハードウェア構成を変更している場合には、本パソコンをご購入時の状態に戻してから、システムの復元を行なってください。
- ・BIOS セットアップの [Advanced CMOS Setup] で [1st Boot Device]、[2nd Boot Device]、[3rd Boot Device] の設定がご購入時の状態と異なる場合、Product Recovery CD-ROM から起動されません。必ずご購入時の設定に戻してから、システムの復元を行なってください。

BIOS セットアップについて ⇨ 「5章 BIOS セットアップについて」

### 1 パソコンをご購入時の状態に戻す

取り付けた拡張カード類や周辺機器などはすべて取りはずし、フロッピーディスクドライブからフロッピーディスクを取り出してください。

6  
章

カスタム・リカバリCD  
／リカバリCDの使いかた

**2** 「Product Recovery CD-ROM Disk 1」を CD-ROM ドライブまたは CD-R/RW ドライブにセットする

**3** パソコンを再起動する

システムが再起動し、「復元する構成を選択してください」のメッセージが表示されます。

**4** **[2]**キーを押す

「ハードディスクの内容は、すべて削除されます！」のメッセージが表示されます。

**5** **[Y]**キーを押す

処理を中止する場合は、**[N]**キーを押してください。

**6** 次のメッセージが表示された場合は、メッセージを確認し、何かキーを押す



ここで表示されるメッセージは、復元の途中で表示されるメッセージについての説明です。内容をご確認のうえ、そのまま何かキーを押してください。



・「Product Recovery CD-ROM」が 1 枚の場合は、このメッセージは表示されません。  
メモ

復元中は、次の画面が表示されます。



(表示例)

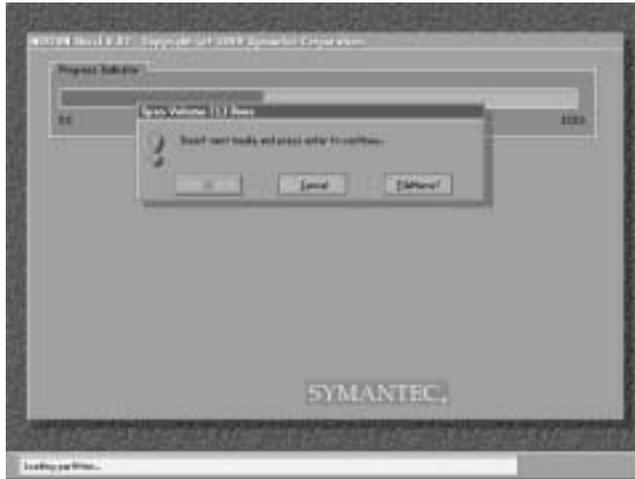
## 7 表示されるメッセージに従って復元を行う

復元中に次のメッセージが表示された場合は、CDを入れ替え、**[Enter]**キーを押してください。処理が続きます。



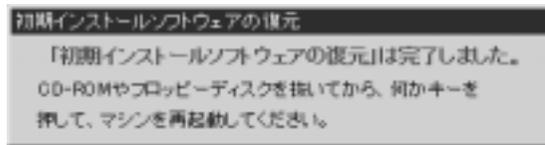
メモ

・「Product Recovery CD-ROM」が1枚の場合は、このメッセージは表示されません。



(表示例)

復元の進行状況を示すグラフ表示が100%に達し、次の画面が表示されたら完了です。



## 8 CDを取り出し、何かキーを押す

システムが再起動します。



お願い

・CDをセットしたままキーを押すと、もう1度システムの復元が始まります。必ずCDを取り出してからキーを押してください。

## 9 Windowsのセットアップを行う

[最小構成の復元]画面が表示されます。最小構成でシステムを復元した時の注意事項が書かれていますので、必ずお読みください。読み終わったら、何かキーを押してください。

Windowsのセットアップが開始されます。

画面に従って、Windowsのセットアップを行なってください。

# 4

## アプリケーションを再インストールする(Windows 98モデル)

Windows 98モデルにプレインストールされているアプリケーションやドライバを一度削除してしまっても、システムの復元を行うことなく、アプリケーションごとに再インストールすることができます。

再インストールには「アプリケーション & ドライバ CD-ROM」を使用します。

### 1 操作手順

- 1 「アプリケーション & ドライバ CD-ROM」を CD-ROM ドライブまたは CD-R/RW ドライブにセットする
- 2 表示されるメッセージに従ってインストールを行う

# 7

## 困ったときは

本章では、困ったときの対処方法を説明します。  
操作中、うまく動作しないときにお読みください。

<b>1</b>	困ったときのQ&A .....	154
----------	-----------------	-----



# 1 困ったときのQ&A

実際に本装置を操作しようとしたときに、思ったとおりに操作できなかったり、何をしたらよいかわからないときがあります。すぐに、故障だ！とあわてる前に、この章をお読みください。

各システムのコマンドを使用しているときにエラーメッセージが表示された場合は、各システムのマニュアルを参照してください。

アプリケーションソフトをご使用の方は、それぞれのアプリケーションソフトのマニュアルをお読みください。

● 電源が入らない .....	154
● エラーメッセージが表示される .....	155
● 画面の表示がおかしい .....	155
● キーボードのキーを押しても希望の文字が入力されない .....	156
● マウスの操作ができない .....	157
● フロッピーディスクドライブが使えない .....	157
● フロッピーディスクが使えない .....	157
● アプリケーションソフトが使えない .....	158
● ハードディスクドライブが使えない .....	159
● CD-ROM ドライブ / CD-R/RW ドライブが使えない .....	159
● PC カードが使えない .....	160
● サウンドが鳴らない .....	160
● 印刷できない .....	161
● テレビ、ラジオに障害が出る .....	161
● 省電力機能が正常に動作しない .....	162
● 異常や故障の場合 .....	162
● どうしてもわからない場合 .....	162

## ● 電源が入らない

**状 況** ● 本体の電源が入らない

**確認** 電源コードはパソコン本体の電源コネクタと電源コンセントに差し込まれていますか？

**対処** ● 電源コードをパソコン本体の電源コネクタと電源コンセントに差し込んでください。

**確認** 電源ランプは点灯していますか？

**対処** ● 電源スイッチを押してください。

**確認** 電源コンセントに電源が通じていますか？

**対処** ● 電源の通じている電源コンセントに差ししてください。

## ● エラーメッセージが表示される

**状況** ● 起動時にエラーメッセージが表示される

**確認** システムの入っていないフロッピーディスクがセットされていませんか？

**対処** ● フロッピーディスクを抜き出してから、再起動してください。

**確認** 電源を切って、また、すぐに入れませんでしたか？

**対処** ● 電源を切ってから5秒以上待って電源を入れてください。

**状況** ● アプリケーションソフト使用時にエラーメッセージが表示される

**対処** ● アプリケーションソフトのマニュアルをお読みください。

**状況** ● 「CMOS Checksum Bad」というエラーメッセージが表示される

**確認** 内蔵バッテリーが消耗していませんか？

**対処** ● 内蔵バッテリーを交換してください。  
☞ [4章 10 内蔵バッテリーの交換]

## ● 画面の表示がおかしい

**状況** ● 画面に何も映らない

**確認** パソコン本体およびディスプレイの電源は入っていますか？

**対処** ● 電源を入れてください。

**確認** ディスプレイ用電源コードは接続されていますか？

**対処** ● 電源をいったん切ってから、コンセントに差し込んでください。

**確認** ディスプレイ用信号ケーブルは正しく接続されていますか？

**対処** ● ゆるみがないように正しく接続してください。

**確認** 表示自動停止機能が働いていませんか？

**対処** ● **[Shift]** キーを押したり、マウスを動かしたり、電源スイッチを押してください。

**確認** USB 機器は接続していますか？

**対処** ● 接続されているUSB機器によっては、USB機器の電源を入れた後、パソコン本体の電源を入れると、パソコン本体が起動しない場合があります。パソコン本体の電源を入れてからUSB機器の電源を入れてください。

**状況** ●画面の表示が乱れる、あるいは画面のサイズや表示位置などが異常である

**確認** ディスプレイの輝度、コントラスト等の調整および、各調整スイッチでの調整は正しくできていますか？

**対処** ●輝度、コントラストおよび各調整スイッチを用いて、正しく調整してください。  
☞『ディスプレイに付属の説明書』

**確認** ディスプレイの交換または解像度、リフレッシュレートの変更を行ないましたか？

**対処** ●電源をご使用のディスプレイの仕様に合った解像度、リフレッシュレートに設定してください。  
☞「3章 3 ディスプレイ解像度の変更」  
また、ディスプレイの仕様に合った解像度、リフレッシュレートに設定しても正しく表示が行えない場合は、ディスプレイドライバとユーティリティの再インストールを行なってください。

## ● キーボードのキーを押しても希望の文字が入力されない

**状況** ●キーボードから入力できない

**確認** キーボードケーブルのプラグをマウスコネクタに接続していませんか？

**対処** ●キーボードケーブルのプラグをキーボードコネクタに接続してください。

**状況** ●どのキーを押しても反応しない

**対処** ●電源を切って、しばらくしてから電源を入れ直してください。

**状況** ●電源を入れ直しても反応しない

**対処** ●**[Ctrl]+[Alt]+[Delete]** キーを押してください。

**状況** ●半角の「～」（チルダ）が入力できない

**対処** ●**[Shift]+[** キーを押してください。

**状況** ●希望の文字が入力できない

**対処** ●キーボードの文字キーは、文字ロックの状態によって、入力される文字が異なります。お使いの日本語入力システムに付属の説明書を参照して、文字ロックを希望の状態にしてください。

## ● マウスの操作ができない

**状況** ● マウスを操作しても反応しない

**確認** マウスがキーボードコネクタに接続されていませんか？

**対処** ● マウスをマウスコネクタに接続してください。

## ● フロッピーディスクドライブが使えない

**状況** ● システムが入ったフロッピーディスクをセットし、**[Ctrl]+[Alt]+[Delete]**キーを押しても、システムが再起動しない

**確認** システムが入っていないフロッピーディスクをセットしていませんか？

**対処** ● システムが入ったフロッピーディスクをセットしてください。

**確認** フロッピーディスクは正しく挿入されていますか？

**対処** ● 正しく挿入されていない場合があります。フロッピーディスクを一度抜いて、もう一度挿入し直してください。  
どうしてもフロッピーディスクドライブが使えない場合は、フロッピーディスクドライブが故障しているおそれがあります。お使いの機種を確認後、同梱の『保守サービスのご案内』をご覧くださいのうえお近くのサービスステーションへご連絡ください。

**状況** ● FDD アクセスランプが消えない

**対処** ● 大量のデータを処理しているときは、ランプが消えるまで待ってください。どうしてもランプが消えないときは、作業を中断（フロッピーディスクを取り出してから電源を切る、または**[Ctrl]+[Alt]+[Delete]**キーを押す）してください。再起動後、同じ作業を繰り返してみて、それでもFDDアクセスランプが消えない場合は、お買い上げの販売店、もしくは同梱の『保守サービスのご案内』をご覧くださいのうえお近くのサービスステーションへご連絡ください。

## ● フロッピーディスクが使えない

**状況** ● 「書き込み禁止です。」というエラーメッセージが表示された

**確認** フロッピーディスクが書き込み禁止状態になっていませんか？

**対処** ● フロッピーディスクを取り出して、書き込み可能状態にしてください。  
☞ 書き込み可能状態について ⇨ 「1章 4-4-3.5型フロッピーディスク」

**状況** ●「ファイルが作れません。」というエラーメッセージが表示された

**確認** フォルダは作成されていますか？

**対処** ●フォルダを作って、そこにファイルを作ってください。

**状況** ●「ディスクがいっぱいです。」というエラーメッセージが表示された

**確認** ディスクの空き容量が少なくありませんか？

**対処** ●不要なファイルを削除して、やり直してください。  
●別のフロッピーディスクを使用してください。

**状況** ●フロッピーディスクドライブにフロッピーディスクを挿入しているのに、「アクセスできません。デバイスの準備ができていません」というメッセージ画面が表示される

**対処** ●[キャンセル] ボタンをクリックして画面を閉じたあと、フロッピーディスクをもう1度挿入し直して、再度アクセスを行ってください。

**状況** ●フロッピーディスクドライブに、フロッピーディスクを挿入しているのに、「ドライブ A のディスクはフォーマットされていません。今すぐフォーマットしますか？」というメッセージ画面が表示される

**確認** フロッピーディスクはフォーマットされていますか？

**対処** ●フロッピーディスクがフォーマットされている場合は、[キャンセル] ボタンをクリックしてメッセージ画面を閉じた後、フロッピーディスクを挿入し直して、もう1度アクセスを行ってください。  
●フロッピーディスクがフォーマットされていない場合、書き込み（データの保存）ができません。このままフォーマットをする場合は、[[はい] ボタンをクリックしてください。

## ● アプリケーションソフトが使えない

**状況** ●アプリケーションソフトが思うように動かない

**確認** システム構成は正しく設定されていますか？

**対処** ●アプリケーションソフトのマニュアルを読んで、指示があればシステム構成を変更してください。

**状況** ●アプリケーションソフトが動かない

**確認** そのアプリケーションソフトはシステムに対応していますか？

**対処** ●システムに対応していないアプリケーションソフトは使えません。お使いのシステムに対応しているアプリケーションソフトをお買い求めください。

## ● ハードディスクドライブが使えない

**状況** ● データの読み／書きができない



対処

- 故障しているおそれがあるので、お使いの機種を確認後、同梱の『保守サービスのご案内』をご覧のうえ、お近くのサービスステーションへご連絡ください。

## ● CD-ROM ドライブ／CD-R/RW ドライブが使えない

※内蔵されているドライブの種類は、ご購入のモデルによって異なります。

**状況** ● CD-ROM ドライブまたは CD-R/RW ドライブにアクセスできない

**確認**

CD-ROM ドライブまたは CD-R/RW ドライブのディスクトレイはきちんとしまっていますか？



対処

- CD-ROM ドライブまたは CD-R/RW ドライブのディスクトレイを正しく格納してください。

**確認**

CD がきちんとセットされていますか？



対処

- CD-ROM ドライブまたは CD-R/RW ドライブのディスクトレイを引き出し、ラベルが付いている方を上にして、CD をセットしてください。

**確認**

CD-ROM ドライブまたは CD-R/RW ドライブのディスクトレイに異物はありませんか？



対処

- 何かはさまっていたら取り除いてください。

**確認**

CD が汚れていませんか？



対処

- 水か中性洗剤で湿らせた布で、汚れを拭き取ってください。

**確認**

対応していないフォーマットの CD-ROM をセットしていませんか？



対処

- CD-ROM ドライブまたは CD-R/RW ドライブが対応しているフォーマットの CD-ROM をセットしてください。

☎ [1章 4-3 CD-ROM ドライブ／CD-R/RW ドライブについて]

**状況** ● CD が取り出せない

**確認**

電源が切れていませんか？



対処

- 電源を入れてから、CD を取り出してください。

## ● PCカードが使えない

**状況** ● PCカードの挿入が認識されない

**確認** PCカードが奥までしっかり差し込まれていますか？

**対処** ● イジェクトボタンが出てくるまで差し込んでください。  
☞ PCカードの取り付け ⇨ 「4章 4 PCカード」

**状況** ● MS-DOS 上で使用できない

**対処** ● 本製品は Windows 専用モデルです。MS-DOS 上で PC カードをご利用いただくためのドライバはご用意しておりません。

**状況** ● デバイスとして認識されるが使用できない

**確認** IRQ が不足していませんか？

**対処** ● 使用しないデバイスを使用不可にしてください。

< Windows 98 の場合 >

- ① [コントロールパネル] を開き、[システム] をダブルクリックする
- ② [デバイスマネージャ] タブで使用しないデバイスを使用不可にする
- ③ [適用] ボタンをクリックする
- ④ [OK] ボタンをクリックする

< Windows 2000 の場合 >

- ① [コントロールパネル] を開き、[システム] をダブルクリックする
- ② [ハードウェア] タブで [デバイスマネージャ] をクリックする
- ③ + をクリックし、使用しないデバイスを右クリックする
- ④ 表示されるメニューの [無効] をクリックする
- ⑤ [はい] ボタンをクリックする

## ● サウンドが鳴らない

**状況** ● 音楽用 CD や WAV ファイルを再生しても、音が出ない

**確認** ボリュームが下がっていませんか？

**対処** ● タスクトレイの音量インジケータをダブルクリックして、音量を確認してください。  
☞ 音量インジケータについて ⇨ 「3章 2-2 音量インジケータ」

**確認** 外部スピーカが接続されていますか？

**対処** ● 本体背面の LINE OUT 端子に外部スピーカ（別売り）が正しく接続されている場合は、本体の内蔵スピーカからは音が出ません。外部スピーカが正しく接続されているかを確認してください。  
☞ 外部スピーカの接続方法 ⇨ 「4章 6 外部スピーカ（別売り）の接続」

## 印刷できない

**状況** ● 本体に接続したプリンタが動作しない

**確認** プリンタの電源は入っていますか？

**対処** ● 本体の電源をいったん切り、プリンタ、本体の順で電源を入れ直してください。

**確認** 接続ケーブルや接続コネクタが正しく接続されていますか？

**対処** ● 正しく接続してください。

**状況** ● 画面上の表示と異なった印刷物が出てきたり、うまく印刷できない

**確認** アプリケーションソフト上でのプリンタの設定条件は、ご使用のプリンタの設定に合っていますか？

**対処** ● アプリケーションソフト上、または Windows のプリンタ設定で正しく設定し直してください。  
☞ 『アプリケーションソフトに付属の説明書』

**確認** BIOS セットアップでのパラレルモード設定は合っていますか？

**対処** ● BIOS セットアップの [Advanced] - [PERIPHERAL SETUP] の [Parallel Port Mode] をお使いのプリンタに合わせて設定してください。  
☞ 『プリンタに付属の説明書』

## テレビ、ラジオに障害が出る

**状況** ● テレビ、ラジオの調子がおかしい

**確認** テレビ、ラジオの近くにパソコン本体やディスプレイを置いていませんか？

**対処**

- テレビ、ラジオの室内アンテナの方向を変えてください。
- テレビ、ラジオに対するパソコン本体やディスプレイの方向を変えてください。
- テレビ、ラジオから離してください。
- テレビ、ラジオの電源コンセントとは別の電源コンセントを使ってください。
- 電源コンセントと機器の電源プラグとの間に市販のフィルタを入れてください。
- 受信機に屋外アンテナを使ってください。
- 平衡フィーダを同軸ケーブルに替えてください。

## ● 省電力機能が正常に動作しない

---

**状況** ● 省電力機能が正常に動作しない

**確認** 市販のPCIカード、PCカードやUSBカードを使用していますか？



**対処**

- PCIカード、PCカードやUSBカードの種類によっては、省電力機能が正常に動作しない場合があります。  
BIOS セットアップを起動し、[Advanced] - [POWER MANAGEMENT SETUP] の [ACPI Standby State] を [S1/POS] に設定してください。  
☞ BIOS セットアップ ☞ 「5章 BIOS セットアップについて」
- Windows 上の省電力機能を使用しないでください。  
☞ 省電力機能について ☞ 「2章 4 省電力機能について」

## ● 異常や故障の場合

---

**状況** ● 異常な臭いや過熱に気がついた



**対処**

- 電源を切り、電源コンセントから電源プラグを抜いてください。
- 次のところに連絡してください。
  - ・ お買い上げの販売店それでもわからない場合は、同梱の『保守サービスのご案内』をご覧のうえ、お近くのサービスステーションへご連絡ください。
  - ・ 使用している機器の名称
  - ・ ご購入年月日
  - ・ 現在の状態できるだけ詳細にご連絡ください。

## ● どうしてもわからない場合

---

操作できない原因がどうしてもわからない場合は、同梱の『ユーザサポート窓口のご案内』をご覧のうえ、現在の状態をメモし、お買い上げの販売店または同梱の『保守サービスのご案内』をご覧のうえ、お近くのサービスステーションにご相談ください。

# 付録

本装置の仕様や、その他の設定方法について説明しています。

<b>1</b>	製品仕様 .....	164
<b>2</b>	各インタフェース .....	172
<b>3</b>	エラーメッセージ .....	178
<b>4</b>	その他の設定 .....	180

# 1 製品仕様

## 1 仕様概要

モデルにより多少異なります。

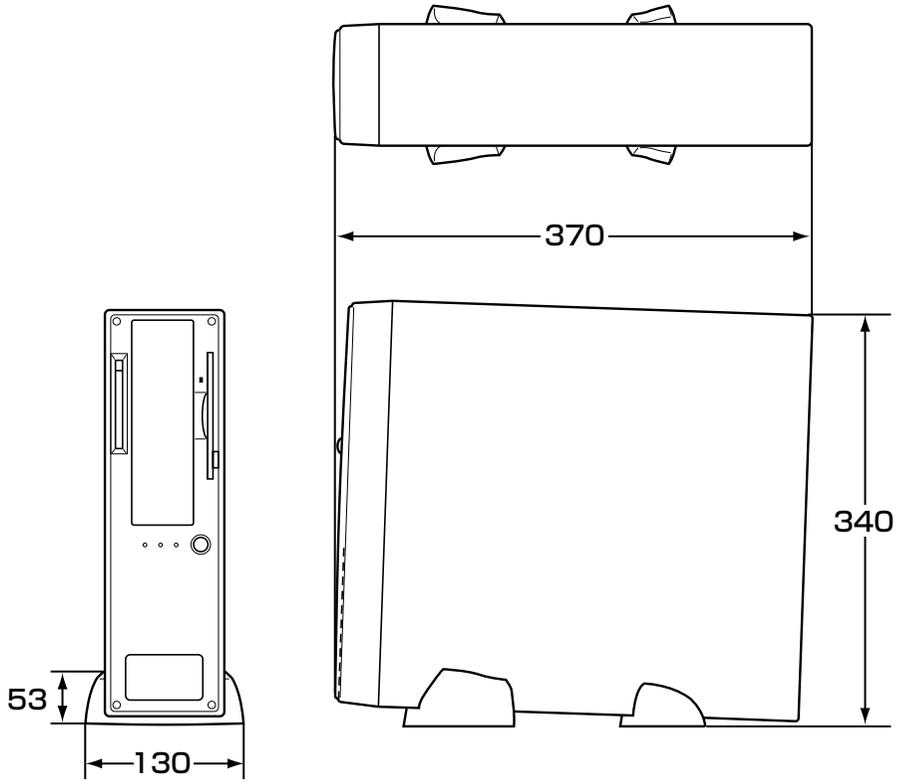
機種		EQUIUM 5030		
プロセッサ	メインプロセッサ	Pentium III 1GHz または Celeron 766MHz		
		1次CACHE (32kB) FPU内蔵		
		2次CACHE : 256kB (Pentium IIIモデル) 128kB (Celeronモデル)		
メモリ	標準メモリ	DIMM 64MB/128MB/256MB/ 512MB (256MB × 2) SDRAM		
		PC133 ECCなし (Pentium IIIモデル) PC100 ECCなし (Celeronモデル)		
	増設メモリ	DIMMスロット×2 (内1つまたは2つを標準メモリで使用) 最大512MB (256M × 2)		
		使用可能 DIMM 64MB/128MB/256MB PC133 ECCなし (Pentium IIIモデル) PC100 ECCなし (Celeronモデル)		
ROM	FLASH MEMORY 4Mbit (書き換え可能)			
表示機能	コントローラ	i815E GMCH		
	ビデオRAM	メインメモリと共有		
	グラフィック表示	640×480 256・64k・16M色 800×600 256・64k・16M色 1024×768 256・64k・16M色 1280×1024 256・64k・16M色 1600×1200 256色 *1		
通信機能	伝送速度	100Mbps TX LAN		
	適合規格	100BASE-TX/10BASE-T		
補助記憶装置	FDD	3.5型 1台装備 720kB/1.2MB/1.44MB (3モード)		
		3.5型 1台装備 20GB/40GB/60GB		
	CD-ROM または CD-R/RW *2	CD-ROM	ATAPI 読み込み最大48倍速	
		CD-R/RW	ATAPI CD-ROM : 読み込み最大32倍速 CD-RW : 書き込み最大10倍速 CD-R : 書き込み最大12倍速	
入力装置	キーボード	109Aキー 分離型		
	マウス	PS/2 ホイール付き		

\*1 デジタルRGBディスプレイの最大解像度は1280×1024です。1600×1200モードは使用できません。

\*2 ご購入のモデルにより、異なります。

機種		EQUIUM 5030
インタフェース	シリアル	1ポート D-SUB 9ピン、16C550互換
	パラレル	1ポート セントロニクス準拠
	アナログRGB	1ポート アナログRGB (3列タイプ)
	デジタルRGB	1ポート デジタル (DVI準拠)
	PS/2マウス	1ポート
	PS/2キーボード	1ポート
	LAN	1ポート
	オーディオ	LINE IN、LINE OUT、マイク端子
	USB	前面 2ポート/背面 2ポート
拡張スロット	PCI	106.68mm×150mmサイズ × 2スロット
		64.41mm×150mmサイズ (Low Profile) × 1スロット
	PCカード	TYPE II × 1スロット (PC Card Standard準拠、Card Bus対応)
内蔵機能	サウンド	i815E ICH2+CS4299 (Codec)
カレンダー機能		日付、時計機能 ボタン型バッテリー使用 電池交換可 寿命約3年
特殊機能	パワーマネージメント	HDD : パワーダウン
	PnP	Plug&Play対応BIOS
電源	電源条件	100V 50/60Hz
	最大消費電力	130W
周囲温度	動作	10℃～35℃
	非動作	-20℃～60℃
相対湿度	動作	20%Rh～80%Rh (ただし結露しないこと)
	非動作	20%Rh～90%Rh (ただし結露しないこと)
外形寸法	本体	90 (W) × 362 (D) × 310 (H) mm (縦置き時、台座を除く)
	キーボード	454 (W) × 173 (D) × 42 (H) mm (非チルトアップ時)
質量	本体	約8.1kg (台座を除く)
	キーボード	約0.9kg

## 2 外形寸法図



(単位 : mm)

### 3 メモリマップ

アドレス	容量	定義
00000000	512/640kB	システムボードRAM
000A0000	128kB	ビデオメモリエリア
000C0000	128kB	BIOSエリア他
000E0000	128kB	システム BIOSエリア他
00100000	~511MB	システムボードRAMエリア
20000000		



メモ

・メモリマップについての詳細は、次の方法で確認してください。

< Windows 98 の場合 >

- ① [スタート] - [プログラム] - [アクセサリ] - [システムツール] - [システム情報] をクリックする
- ② 画面左側のツリーから [ハードウェアリソース] - [メモリ] をクリックする

< Windows 2000 の場合 >

- ① [マイコンピュータ] を右クリックして [管理] をクリックする
- ② 画面左側のツリーから [システム情報] - [ハードウェアリソース] - [メモリ] をクリックする

## 4 I/O マップ

アドレス	I/O
00000000-0000000F	DMAコントローラ
00000010-0000001F	マザーボード リソース
00000020-00000021	プログラミング可能な割り込みコントローラ
00000022-0000003F	マザーボード リソース
00000040-00000043	システム タイマ
00000044-0000005F	マザーボード リソース
00000060-00000060	106日本語 (A01) キーボード (Ctrl+英数)
00000061-00000061	システム スピーカー
00000062-00000063	マザーボード リソース
00000064-00000064	106日本語 (A01) キーボード (Ctrl+英数)
00000065-0000006F	マザーボード リソース
00000070-00000071	システム CMOS/リアル タイム クロック
00000072-0000007F	マザーボード リソース
00000080-00000080	マザーボード リソース
00000081-00000083	DMAコントローラ
00000084-00000086	マザーボード リソース
00000087-00000087	DMAコントローラ
00000088-00000088	マザーボード リソース
00000089-0000008B	DMAコントローラ
0000008C-0000008E	マザーボード リソース
0000008F-0000008F	DMAコントローラ
00000090-0000009F	マザーボード リソース
000000A0-000000A1	プログラミング可能な割り込みコントローラ
000000A2-000000BF	マザーボード リソース
000000C0-000000DF	DMAコントローラ
000000E0-000000EF	マザーボード リソース
000000F0-000000FF	数値データ プロセッサ
00000170-00000177	セカンダリ IDE コントローラ (デュアル FIFO) *
00000170-00000177	Intel(R) 82801BA Ultra ATA Strage Controller*
000001F0-000001F7	プライマリ IDE コントローラ (デュアル FIFO) *
000001F0-000001F7	Intel(R) 82801BA Ultra ATA Strage Controller*
00000295-00000296	マザーボード リソース
00000376-00000376	セカンダリ IDE コントローラ (デュアル FIFO) *
00000376-00000376	Intel(R) 82801BA Ultra ATA Strage Controller*
00000378-0000037F	ECP プリンタ ポート (LPT1)

アドレス	I/O
000003B0-000003BB	Intel(R) 82815 Graphics Controller*
000003C0-000003DF	Intel(R) 82815 Graphics Controller*
000003F0-000003F3	TOSHIBA 3-mode Floppy (TOSHIBA DeskTop Type E)
000003F4-000003F5	TOSHIBA 3-mode Floppy (TOSHIBA DeskTop Type E)
000003F6-000003F6	プライマリ IDE コントローラ (デュアル FIFO) *
000003F6-000003F6	Intel(R) 82801BA Ultra ATA Strage Controller*
000003F7-000003F7	TOSHIBA 3-mode Floppy (TOSHIBA DeskTop Type E)
000003F8-000003FF	通信ポート (COM1)
00000400-0000047F	マザーボード リソース
00000480-000004BF	マザーボード リソース
000004D0-000004D1	マザーボード リソース
00000540-0000054F	Intel(R) 82801BA SMBus Controller
00000778-0000077B	ECP プリンタ ポート (LPT1)
00000A78-00000A7F	マザーボード リソース
00000B78-00000B7F	マザーボード リソース
00000BBC-00000BBF	マザーボード リソース
00000CF8-00000CFF	PCI バス
00000E78-00000E7F	マザーボード リソース
00000F78-00000F7F	マザーボード リソース
00000FBC-00000FBF	マザーボード リソース
0000A000-0000AFFF	Intel(R) 82801BA PCI Bridge
0000AC00-0000AC3F	Intel(R) PRO/100 VE Network Connection
0000CC00-0000CC1F	Intel(R) 82801BA/BAM USB Universal Host Controller
0000D400-0000D41F	Intel(R) 82801BA/BAM USB Universal Host Controller
0000D800-0000D83F	Crystal WDM Audio Codec
0000DC00-0000DCFF	Crystal WDM Audio Codec
0000FFA0-0000FFA7	プライマリ IDE コントローラ (デュアル FIFO)
0000FFA0-0000FFAF	Intel(R) 82801BA Ultra ATA Strage Controller*
0000FFA8-0000FFAF	セカンダリ IDE コントローラ (デュアル FIFO)

\*部分+ 400h 番地ごとに Shadow



メモ

・I/O マップについての詳細は、次の方法で確認してください。

< Windows 98 の場合 >

- ① [スタート] - [プログラム] - [アクセサリ] - [システムツール] - [システム情報] をクリックする
- ② 画面左側のツリーから [ハードウェアリソース] - [I/O] をクリックする

< Windows 2000 の場合 >

- ① [マイコンピュータ] を右クリックして [管理] をクリックする
- ② 画面左側のツリーから [システム情報] - [ハードウェアリソース] - [I/O] をクリックする

## 5 割り込みレベル・DMAチャンネル

### ● 割り込みレベル

IRQ	Channel
0	システム タイマ
1	106 日本語 (A01) キーボード (Ctrl+英数)
2	プログラミング可能な割り込みコントローラ
3	Intel(R) PRO/100 VE Network Connection
3	PCI IRQ ステアリング用 ACPI IRQ ホルダ
4	通信ポート (COM1)
5	Intel(R) 82801BA/BAM USB Universal Host Controller
5	PCI IRQ ステアリング用 ACPI IRQ ホルダ
6	TOSHIBA 3-mode Floppy (TOSHIBA DeskTop Type E)
7	ECP プリンタ ポート (LPT1)
8	システム CMOS/リアル タイム クロック
9	Generic CardBus Controller
9	Intel(R) 82815 Graphics Controller
9	PCI IRQ ステアリング用 ACPI IRQ ホルダ
10	Intel(R) 82801BA/BAM USB Universal Host Controller
10	PCI IRQ ステアリング用 ACPI IRQ ホルダ
11	Crystal WDM Audio Codec
11	Intel(R) 82801BA/BAM SMBus Controller
11	PCI IRQ ステアリング用 ACPI IRQ ホルダ
11	ACPI バスで使用されている SCI IRQ
12	Microsoft PS/2 Port Mouse
13	数値データ プロセッサ
14	Primary IDE controller (dual fifo)
14	Intel(R) 82801BA Ultra ATA Storage Controller
15	Secondary IDE controller (dual fifo)
15	Intel(R) 82801BA Ultra ATA Storage Controller

※ご使用の環境 (ハードウェア/ソフトウェア) によって変更される場合があります。



メモ

・割り込みレベルについての詳細は、次の方法で確認してください。

< Windows 98 の場合 >

- ① [スタート] - [プログラム] - [アクセサリ] - [システムツール] - [システム情報] をクリックする
- ② 画面左側のツリーから [ハードウェアリソース] - [IRQ] をクリックする

< Windows 2000 の場合 >

- ① [マイコンピュータ] を右クリックして [管理] をクリックする
- ② 画面左側のツリーから [システム情報] - [ハードウェアリソース] - [IRQ] をクリックする

## DMA チャンネル

DMA	Channel
0	User
1	User
2	TOSHIBA 3-mode Floppy (TOSHIBA DeskTop Type E)
3	ECP プリンタ ポート (LPT1)
4	DMAコントローラ
5	User
6	User
7	User

(出荷時の標準設定)

※ご使用の環境（ハードウェア／ソフトウェア）によって変更される場合があります。



メモ

・DMA チャンネルについての詳細は、次の方法で確認してください。

< Windows 98 の場合 >

- ① [スタート] - [プログラム] - [アクセサリ] - [システムツール] - [システム情報] をクリックする
- ② 画面左側のツリーから [ハードウェアリソース] - [DMA] をクリックする

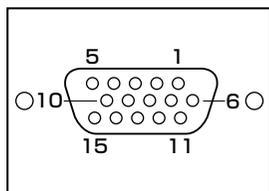
< Windows 2000 の場合 >

- ① [マイコンピュータ] を右クリックして [管理] をクリックする
- ② 画面左側のツリーから [システム情報] - [ハードウェアリソース] - [DMA] をクリックする

## ② 各インタフェース

### ① アナログ RGB インタフェース

(注) I/O は本装置から見た場合の入出力を示します。



ピン番号	信号名	意味	I/O
1	CRV	赤色ビデオ信号	O
2	CGV	緑色ビデオ信号	O
3	CBV	青色ビデオ信号	O
4	ID2	モニタID2	
5	GND	信号グランド	
6	GND	信号グランド	
7	GND	信号グランド	
8	GND	信号グランド	
9	Unused	未使用	
10	GND	信号グランド	
11	ID0	モニタID	
12	DDCDAT	SDA通信信号	I/O
13	-CHSYNC	水平同期信号(TTL)	O
14	-CVSYNC	垂直同期信号(TTL)	O
15	DDCCLK	SCLデータクロック信号	I/O

### ② アナログ RGB インタフェースの同期信号

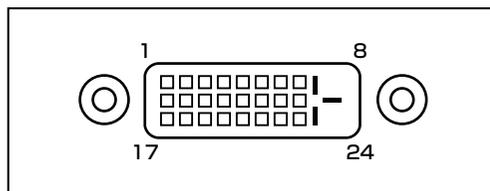
解像度 色数	640 x 480	800 x 600	1024 x 768	1280 x 1024	1600 x 1200
	垂直 (Hz)				
256	60-85	60-85	60-85	60-85	60-85
64k	60-85	60-85	60-85	60-85	—
16M	60-85	60-85	60-85	60-85	—

色数 256:256色、64k:65,536色、16M:1,677万色

ご使用になれる解像度、色数は接続するディスプレイによって異なります。

☞ 『ディスプレイに付属の説明書』

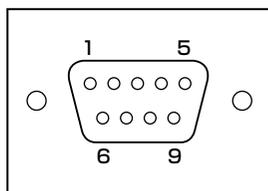
### ③ デジタルRGB インタフェース



ピン番号	意味	ピン番号	意味
1	T.M.D.S.データ2-	13	T.M.D.S.データ3+
2	T.M.D.S.データ2+	14	電圧5V
3	T.M.D.S.データ2/4シールド	15	信号グランド (5V用)
4	T.M.D.S.データ4-	16	ホットプラグ信号
5	T.M.D.S.データ4+	17	T.M.D.S.データ0-
6	DCCクロック信号	18	T.M.D.S.データ0+
7	DCCデータ信号	19	T.M.D.S.データ0/5シールド
8	未使用	20	T.M.D.S.データ5-
9	T.M.D.S.データ1-	21	T.M.D.S.データ5+
10	T.M.D.S.データ1+	22	T.M.D.S.クロックシールド
11	T.M.D.S.データ1/3シールド	23	T.M.D.S.クロック信号+
12	T.M.D.S.データ3-	24	T.M.D.S.クロック信号-

デジタルRGB ディスプレイの最大解像度は 1280 × 1024 ドットです。

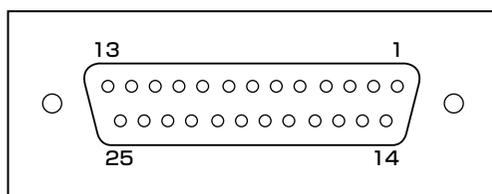
### ④ シリアルインタフェース



(注) I/O は本装置から見た場合の入出力を示します。

ピン番号	信号名	意味	I/O
1	CD	受信キャリア検出	I
2	RXD	受信データ	I
3	TXD	送信データ	O
4	DTR	データ端末レディ	O
5	GND	信号グランド	
6	DSR	データセットレディ	I
7	RTS	送信要求	O
8	CTS	送信可	I
9	CI	被呼表示	I

## 5 パラレルインタフェース

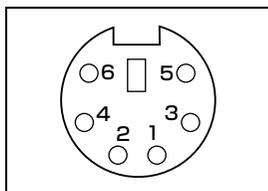


(注) I/Oは本装置から見た場合の入出力を示します。

ピン番号	信号名	意味	I/O
1	-STROBE	PD0~PD7のデータを書き込むための同期用出力信号	O
2~9	PD0~PD7	データの0ビット目から7ビット目の情報を送信する出力信号	O
10	-ACK	プリンタ内のBUSY状態が解除された直後に出る、プリンタ側からの要求パルス	I
11	BUSY	プリンタがデータ受信可能な状態であるかどうかを示すDCレベルの信号	I
12	PE	用紙切れの検出を知らせるDCレベルの信号	I
13	SELECT	プリンタのセレクト/ディセレクト状態を示すDCレベルの信号	I
14	-AUTFD	入出力信号	O
15	-ERROR	プリンタのエラー状態を示すDCレベルの信号	I
16	-PINIT	プリンタ制御部を初期状態にする出力信号	O
17	-SLIN	未使用	I/O
18~25	GND	信号グランド	

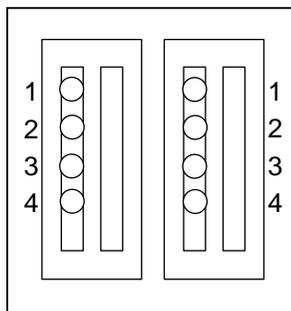
## 6 キーボード・マウスインタフェース

(注) I/Oは本装置から見た場合の入出力を示します。



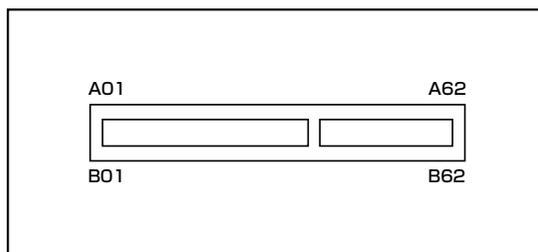
ピン番号	信号名	意味	I/O
1	DATA	データ	I/O
2	Unused	未使用	
3	GND	信号グランド	
4	+5V	+5V	
5	CLOCK	クロック	I/O
6	Unused	未使用	

## 7 USB インタフェース



ピン番号	信号名	I/O
1	+5V	
2	-Data	I/O
3	+Data	I/O
4	GND	

## 8 拡張スロット (PCI タイプカード用)



### ● 拡張スロット(PCI タイプ)

(注) I/O は本装置から見た場合の入出力を示します。

ピン番号	5Vシステム環境			
	サイドB	I/O	サイドA	I/O
1	-12V		TRST#	I
2	TCK	I	+12V	
3	GND		TMS	I
4	TDO	O	TDI	I
5	+5V		+5V	
6	+5V		INTA#	I/O
7	INTB#	I/O	INTC#	I/O
8	INTD#	I/O	+5V	
9	PRSNT1#	O	予約	
10	予約		+5V(I/O)	
11	PRSNT2#	O	予約	
12	GND		GND	
13	GND		GND	

(注) I/Oは本装置から見た場合の入出力を示します。

ピン番号	5Vシステム環境			
	サイドB	I/O	サイドA	I/O
14	予約		予約	
15	GND		RST	I
16	CLK	I	+5V(I/O)	
17	GND		GNT#	I/O
18	REQ#	I/O	GND	
19	+5V(I/O)		予約	
20	AD [31]	I/O	AD [30]	I/O
21	AD [29]	I/O	+3.3V	
22	GND		AD [28]	I/O
23	AD [27]	I/O	AD [26]	I/O
24	AD [25]	I/O	GND	
25	+3.3V		AD [24]	I/O
26	C/BE [3] #	I/O	IDSEL	I
27	AD [23]	I/O	+3.3V	
28	GND		AD [22]	I/O
29	AD [21]	I/O	AD [20]	I/O
30	AD [19]	I/O	GND	
31	+3.3V		AD [18]	I/O
32	AD [17]	I/O	AD [16]	I/O
33	C/BE [2] #	I/O	+3.3V	
34	GND		FRAME#	I/O
35	IRDY#	I/O	GND	
36	+3.3V		TRDY#	I/O
37	DEVSEL#	I/O	GND	
38	GND		STOP#	I/O
39	LOCK#	I/O	+3.3V	
40	PERR#	I/O	SDONE	I/O
41	+3.3V		SBO#	I/O
42	SERR#	I/O	GND	I/O
43	+3.3V		PAR	I/O
44	C/BE [1] #	I/O	AD [15]	
45	AD [14]	I/O	+3.3V	
46	GND		AD [13]	I/O
47	AD [12]	I/O	AD [11]	I/O
48	AD [10]	I/O	GND	
49	GND		AD [09]	I/O

(注) I/O は本装置から見た場合の入出力を示します。

ピン番号	5Vシステム環境			
	サイドB	I/O	サイドA	I/O
50	コネクタ・キー			
51	コネクタ・キー			
52	AD [08]	I/O	C/BE [0] #	I/O
53	AD [07]	I/O	+3.3V	
54	+3.3V		AD [06]	I/O
55	AD [05]	I/O	AD [04]	I/O
56	AD [03]	I/O	GND	
57	GND		AD [02]	I/O
58	AD [01]	I/O	AD [00]	I/O
59	+5V(I/O)		+5V(I/O)	
60	ACK64#	I/O	REQ64#	I/O
61	+5V		+5V	
62	+5V		+5V	

## ● PCI スロットの電流容量

PCI スロットで使用可能な電流容量は次のとおりです。

### ● PCI スロットの許容電流値

拡張デバイスの合計で、次の許容電流値を必ず守ってください。

電流容量	PCIスロット
+5V	4.4A以下
+3.3V	4.4A以下
+12V	0.3A (ピーク時1.3A)
-12V	0.15A以下

この項目では、システム起動時に発生する可能性のあるブザー類およびエラーメッセージを説明します。



**注意** ・これらのエラーが繰り返し発生する場合は、エラーメッセージの内容と現在の本体の設定環境を具体的に記録し、『保守サービスのご案内』をご覧ください。すぐにサービスステーションまでお問い合わせください。

エラーメッセージ	説明
BIOS BATTERY HAS FAILED CMOS Battery Low	内蔵バッテリーが消耗しています。 新しいバッテリーに交換してください。 ☞ 「4章 10 内蔵バッテリーの交換」
CMOS CHECKSUM BAD CMOS Settings Wrong CMOS/GPNV Checksum Bad CMOS Date/Time Not Set	CMOSでエラーが検出されました。内蔵バッテリーが消耗している可能性があります。 バッテリーが消耗している場合は、新しいバッテリーに交換してください。
DISK BOOT FAILURE, INSERT SYSTEM DISK AND PRESS ENTER	システムを起動する装置が見つかりません。 フロッピーディスク装置から起動する場合は、システムの入ったフロッピーディスクをセットし、 <b>[Enter]</b> キーを押してください。 ハードディスク装置から起動する場合は、システムが正しくインストールされているか、また、ケーブル類が正しく接続されているか確認してください。
DISK DRIVERS OR TYPES MISMATCH ERROR -RUN SETUP	ディスク装置が正しく定義されていません。 BIOSセットアップを起動し、ディスク装置を正しく設定し直してください。 ☞ 「5章 BIOSセットアップについて」
DISPLAY SWITCH IS SET INCORRECTLY	メインボードのディスプレイスイッチの設定が正しくありません。 メインボードのディスプレイスイッチを「カラー」に設定し、ジャンパまたはBIOSセットアップを正しく設定し直してください。 ☞ 「5章 BIOSセットアップについて」
DISPLAY TYPE HAS CHANGED SINCE LAST BOOT	前回起動したときと、ディスプレイアダプタが異なります。 BIOSセットアップを起動して、正しく設定してください。
ERROR ENCOUNTERED INITIALIZING HARD DRIVE / ERROR INITIALIZING HARD DISK CONTROLLER	ハードディスクをイニシャライズできません。 ハードディスクが正しく接続されているか、ケーブル類が正しく接続されているか確認してください。 また、BIOSセットアップで、ハードディスクの設定が正しく行われているか確認してください。 必要に応じてハードディスクのジャンパの設定が正しく行われているか確認してください。
FLOPPY DISK CNTRLR ERROR / NO CNTRLR ERROR / NO CNTRLR PRESENT FDC Failure	フロッピーディスク装置が見つかりません。またはイニシャライズできません。 フロッピーディスク装置が正しく接続されているか、ケーブル類が正しく接続されているか確認してください。

エラーメッセージ	説明
KEYBOARD ERROR / NO KEYBOARD PRESENT	キーボードをイニシャライズできません。 キーボードのケーブルが正しく接続されているか確認してください。 また、起動中にキーを押さないでください。
MEMORY SIZE HAS CHANGED SINCE LAST BOOT	前回起動したときと、メモリの量（サイズ）が異なります。 （システムに認識されていません） BIOSセットアップを起動し、新しいメモリの量を設定してください。
MEMORY VERIFY AT...	メモリ書き込み確認でエラーが検出されました メモリマップを確認のうえ、デバイスが使用するメモリを指定された範囲内に設定してください。
PRESS A KEY TO REBOOT	再起動が必要なエラーが発生しました。 どれかキーを押してください。システムが再起動します。
PRESS F1 TO DISABLE NM1, F2 TO REBOOT	BIOSがNMI状態を検出しました。 NMIを無効にするには[F1]キーを押します。 NMIを無効にせずにシステムを再起動するには[F2]キーを押します。
RAM - CHECKING FOR SEGMENT...	RAMでエラーが発生しました。 故障したRAMを新しいものと交換してください。
SYSTEM HALTED. (CTRL- ALT-DEL) TO REBOOT	システムを正常に起動できませんでした。 [Ctrl]+[Alt]+[Delete]キーを押して、再起動してください。
Pri Master HDD Error Pri Slave HDD Error Sec Master HDD Error Sec Slave HDD Error	接続されているHDDが壊れている可能性があります。

## 4 その他の設定

### 1 CD-R/RW モデル

CD-R/RW モデルで、CD-R / CD-RW に書き込みを行うためには、専用のソフトウェアが必要です。

書き込みを行うためのソフトウェアとして、Adaptec 社製「DirectCD」「Easy CD Creator」をご用意しています。

次の手順に従って、インストールを行なってください。

また、実際に CD-R / CD-RW に書き込みを行うときは、「1 章 4-3- CD-R / CD-RW に書き込む」の注意事項をお読みください。

### ● インストール

- 1 「Easy CD Creator」CD-ROM を CD-R/RW ドライブにセットする  
CD-ROM をセットすると、自動的にインストール画面が表示されます。
- 2 画面の指示に従って「DirectCD」または「Easy CD Creator」をインストールする
- 3 本体を再起動する